

# 人権つうしん

誇りです 差別のないまち わが職場

(同和教育つうしん第9号より)

通算35号 平成20年(2008年)8月5日

発行 長野県教育委員会教学指導課心の支援室

発行人 町田 暁世

長野市大字南長野野幅下692-2

電話 026-235-7450

FAX 026-235-7495

Eメール [kokoro@pref.nagano.jp](mailto:kokoro@pref.nagano.jp)

企業・各種組織・団体・学校等での学習にご活用ください。

## 6月24日(火)ハンセン病療養所入所者との懇談会

於:須坂看護専門学校

【企画部人権・男女共同参画課主催】

講師の丸山多嘉男さん(栗生楽泉園長野県人会会長)のお話が終ると、生徒のみなさんから質問や感想が出されました。

「丸山さんは、楽泉園に来られた時に自身がハンセン病だということを知ったと話されましたが、丸山さんに病気のことを伝えなかった両親のお気持ちはどうだったのでしょうか？」

「療養所の入所者の方が、病院のような施設でなく私たちと同じような日常生活を送られていることに驚きました」

丸山さんは、ひとつひとつ質問に丁寧に答えながら、「ぜひ、みなさんも楽泉園に一度足を運んでみてください」と呼びかけられました。学習したことを自分の目で直接確認し、学びを確かなものにしてほしいという丸山さんの強い願いを、生徒のみなさんも感じられたようです。最後は、丸山さんと生徒全員が握手をして懇談会が終わりました。

須坂看護専門学校では、10月15日(水)に2回目の懇談会を予定しています。



懇談会について考える懇談会

ハンセン病問題についての学習をすすめていきます。

## 7月10日(木)諏訪・上伊那地区 社会人権教育研修会

於:男女共同参画センター(あいとびあ)

【伊那教育事務所主催】



くれる人の存在が必ずあったことを知りました。そして差別は、される人だけでなく、する側の人をも苦しめるという本質を理解していきました」と語られた言葉がたいへん印象的でした。

伊波敏男さん(ハンセン病回復者、作家)の午前中の講演、『私たちが見棄てた人たち』の中で、長野県においてこの問題解決のために扉を開いた小・中学生の活動が紹介され、「元患者をふるさとに迎えるために、大人は、そして、みなさんは何か汗をかきましたか?」という問いかけがありました。

午後の分科会では、かつて長野市の小学生とともに伊波さんと交流することでハンセン病問題について深く学ばれた箕輪中部小学校、清水 稔 教頭先生との対談が行われました。清水先生が、「子どもたちは、伊波さんとの出会いを契機にしてこの問題を考える中で、差別に負けない伊波さんの生き方とその人間性に共感するとともに、支えて

伊波さんのお話をお聞きするために、愛知県と三重県からお出でになられた、それぞれ安達さん、斎藤さんです。



「過去にハンセン病を患った方々に対し、県及び国家、国民が強い事実、実態について検証し、再び同じ過ちを繰り返さぬよう、今後の教訓とすることにも、ハンセン病に関する正しい知識の普及啓発により、差別や偏見の解消を図る」これは、平成十七年(2005)一月から始まった『長野県ハンセン病問題検証会議』の開催目的です。その後、検証活動(療養所への現地調査や入所者・行政関係者等への聞き取り調査)や検証会議を経て、翌十八年に『報告書』が県に提出されました。報告書では、強制隔離政策の背景や療養所の実態、長野県における無らい運動の状況が明らかにされたとともに、この問題の解決を目指すための今後の取組みとして、ハンセン病についての社会全体の正しい理解の促進や、療養所入所者とふるさととの距離を縮めることなどが提言されています。報告書の全文は、長野県ホームページでご覧いただけます。

http://www.pref.nagano.jp/kkaku/danjo/hansen/kensyo2.htm

## 5/26(月)学校・社会人権教育の担当者がともに学び合いました

参加者の声

【飯田教育事務所主催】

学校・社会の担当者で話し合う機会が持てたいへんよかった。他市町村の実践が参考になった。

地域の中で子ども達を育てていく、地域に生きる大人も学んでいくという方向を学校、社会が連携して考えていく機会として、たいへん有意義である。

学社連携の具体例が語られました。

・参観日講演会、PTA講演会を地域に公開している。

(喬木村、飯田市川路、飯田市羽場・丸山)

・特別支援学級についての周知を高年齢学級の活動で行った。

(下條村)

社会人権教育担当者26名の出席がありました。(前年比10名増)



差別的ない明るい社会、長野県をめざして、県や教育委員会では啓発事業や人権教育など、さまざまな取り組みをしています。平成二十年度(2008)の上半期に行われたいくつかの事業を紹介させていただきます。これからのものもたくさんありますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 7/8(火)出発式 一人ひとりのちがいが尊重される社会へ

『ラッピングバス』が走ります【企画部人権・男女共同参画課、長野地方法務局、長野県人権擁護連合会】



ラッピングバスは全部で3台運行されます。写真のバスは20年度の県人権啓発ポスターを施し、長野市北部を3月までの9ヶ月間走ります。あとの2台は、12月の国の「人権週間」と、県の「ちがいを愛する県民運動強調週間」にあわせ、小学生の絵をデザインしたものが、長野市南部と松本市を走る予定になっています。

## 7/25(金) 企業と人権教育 企業人権教育推進大会が行われました

【企画部人権・男女共同参画課主催】

今年度の大会テーマは「高齢者がやりがいを持ち、いきいきと能力を発揮できる職場づくり」です。

最初に、株式会社小川の庄取締役総務部長、伊藤宗善さんから「小川の庄における高齢者雇用の取組について」事例報告をしていただきました。続いて、みずほ総合研究所政策調査部主任研究員、大島寧子さんの講演「高齢期の人材がやりがいを持ち、能力を発揮できる職場づくり」をお聞きし、企業人権教育の一層の推進を図る必要性を確認しました。



伊藤宗善さん



大島寧子さん

これから行われる催し

【企画部人権・男女共同参画課主催】

- ハンセン病療養所訪問ふれあい事業
- 9/2(火) 東京都多摩区生園 男女共同参画地域フォーラム
- 9/6(土) 波田町情報文化センター ハンセン病療養所入所者との懇談会
- 10/15(水) 須坂看護専門学校 男女共同参画フェスティバル
- 10/25(土) 須坂市メセナホール ハンセン病療養所入所者との懇談会
- 10/27(月) 佐久大学・信州短期大学 ハンセン病療養所入所者との懇談会
- 10/28(火) 信州大学松本キャンパス 人権フェスティバル
- 11/28(金) 松本市音楽文化ホール 「ちがいを愛する県民運動強調週間」
- 12/1(月) ~ 12/10(水)

参加を希望される場合やお問い合わせ等は、企画部人権・男女共同参画課までお願いします。

026(235)7102



9月19日(金)【中南信会場】長野県総合教育センター(塩尻市)

【講演会講師 虎井まさ衛さんプロフィール】

1963年東京生まれ。作家。「オフィス然 nature」代表。立教大学、千葉大学非常勤講師。幼少期より性同一性障害に悩み、大学卒業後、渡米して女性から男性への性別適合手術を受ける。その前後の1987年より、著述・講演など性同一性障害についての啓発活動を始め、1994年に創刊した「FTM日本」は国内外の研究者・教育者にも広く参考にされている。

東京都人権啓発ビデオ(東映製作)への出演、「3年B組金八先生」第6シリーズへの協力など、性と人権について、教育現場や特にメディアを通じてアピールすることに力を入れている。

著書に、「女から男になったワタシ」(青弓社 1996年)「ある性転換者の記録」(青弓社 1997年 共著)「トランスジェンダーの仲間たち」(青弓社 2000年)「トランスジェンダーの時代」(十月舎 2000年)「ある性転換者の幸福論」(十月舎 2001年)「男の戸籍をください」(毎日新聞社 2003年)「性同一性障害って何?」(緑風出版 2003年、共著)などがある。



【第1分科会】

テーマ: 同和問題について
内容: 同和問題の現状について講演をお聞きし、理解を深めます。これからの啓発のあり方を考えたり、話し合ったりします。

講師: 星沢 重幸さん

NPO法人人権センターながの理事

【第2分科会】

テーマ: 女性の人権について
内容: DVやセクシャルハラスメント等、女性相談の現状から、家庭・地域など、身近な生活の中にある女性の人権問題について考えます。

講師: 三澤 鈴子さん

長野県女性相談センター所長

【第3分科会】

テーマ: 障害者の人権問題について
内容: 知的障害者更生施設(四賀アイ・アイ)のみなさんとの交流会や支援部長さんのお話を通して、障害のある人があたりまえに暮らせる社会について話し合います。

講師: 四賀アイ・アイのみなさん

生活支援部長 赤羽 信行さん

【第4分科会】

テーマ: 受刑者再起支援のあり方について
内容: 我が国唯一の刑務所内中学校(松本市立旭町中学校桐分校)の施設見学と法務官による講義を通して、受刑者再起のあり方を考えます。

講師: 法務官 松本少年刑務所

午後に現地集合、現地解散の予定です。

【第5分科会】

テーマ: 語り合い気づこう人権

講師: 佐久教育事務所 白鳥郷史指導主事
内容は9月11日と同じになります。

研修会の日程(9月11日、19日ともに同一日程)

Table with 9 columns: 9:00, 10:00, 10:10, 10:20, 12:20, 13:20, 15:30, 15:40. Rows: 受付, 開会行事, 行政説明, 講演会, 昼食, 分科会, 休憩, 分科会, 閉会行事

課題別分科会の内容と講師の紹介

課題別分科会の内容と講師の紹介

参加申し込みは、開催要項別紙様式にてお願いします。

お問い合わせは、各教育事務所
佐久 0267(63)3230 上田 0268(25)7175
伊那 0265(76)6861 飯田 0265(53)0461
松本 0263(40)1977 長野 026(234)9552
もしくは、教学指導課心の支援室
026(235)7450 担当: 奥原まで
お願いします。

9月11日(木)【東北信会場】千曲市更埴文化会館(あんずホール)

【講演会講師 炭谷 茂さんプロフィール】

1946年富山県生まれ。

1969年東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入る。総務庁(当時)地域改善対策室長、厚生省国立病院部長、厚生省社会・援護局長、環境省官房長等を経て、2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。国家公務員在職中医療、福祉、環境、人権の仕事に従事した。

現在社会福祉法人恩賜財団済生会理事長、(財)地球・人間環境フォーラム理事長、学習院大学特別客員教授、呉大学客員教授、長崎国際大学大学院兼任講師、(財)日本更生保護協会理事、朝日新聞厚生文化事業団評議員等を務める。

また国家公務員在職中から一個人として障害者、ホームレス、引きこもりの若者、刑余者などへの就労支援、貧困地域のまちづくりなど社会貢献活動に従事している。

最近の著書に「私の人権行政論」(解放出版社 2007年11月)「環境福祉学の理論と実践」(編著、環境新聞社、2006年9月)「社会福祉の原理と課題」(社会保険研究所、2004)「地球環境問題の新常識」(共著、東洋経済新報社、2004)



【第1分科会】

テーマ: 同和問題について
内容: 上田市における解放子ども会指導の実践発表と話し合いを通して、現状と課題を理解し同和問題の解決にむけて考えます。

講師: 中村 瑞穂さん

上田市丸子地域教育事務所

講師: 工藤 真一さん

上田市城南公民館

講師: 高須 健さん

上田市塩田公民館

【第3分科会】

テーマ: ハンセン病問題について
内容: ジャーナリストの立場から見たハンセン病問題の現状をお聞きし、社会のあり方を考えます。

講師: 畑谷 史代さん

信濃毎日新聞社論説委員

【第2分科会】

テーマ: 女性の人権について
内容: DVやセクシャルハラスメント等、女性相談の現状から、家庭・地域など、身近な生活の中にある女性の人権問題について考えます。

講師: 三澤 鈴子さん

長野県女性相談センター所長

【第4分科会】

テーマ: 受刑者再起支援のあり方について
内容: 松本市立旭町中学校桐分校で受刑者の更正教育に35年間携わられてこられた実践(5/22 SBCスペシャルで放映)に学びます。

講師: 角谷 敏夫さん

元松本少年刑務所企画部門 教育担当・桐分校担任



【第5分科会】

テーマ: 語り合い気づこう人権
内容: 公民館・企業・PTA活動など地域社会での人権教育・講座に役立ち、参加者みんなで語り合う、体験的参加型学習の演習です。

講師: 飯田教育事務所 本村栄次指導主事

平成二十年度(2008) 社会人権教育リーダー研修会を開催します。